

令和2年度事業報告

① こばと保育園事業報告

令和2年度入所児童数(月初日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延計
0歳	6	7	7	8	10	11	13	15	17	17	18	18	147
1歳	19	19	19	19	20	20	18	19	20	20	20	19	232
2歳	22	22	22	22	22	22	22	22	21	21	22	22	262
3歳	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	21	263
4歳	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	264
5歳	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	264
計	113	114	114	115	118	119	119	122	124	124	126	124	1,432

3年間の入所児童推移

	H30	H31	R2	R3見込
定員	110	110	110	110
0歳児	150	144	147	145
1,2歳児	501	504	494	485
3歳児	264	264	263	276
4,5歳児	504	528	528	528
計	1419	1440	1432	1434
充足率	107%	109%	108%	108%

延長・一時保育児童数推移

	H30	H31	R2
延長保育	1344	1483	1695
一時保育	525	465	12

2、職員動向

	フル	パート	計	備考
R2年3月	23(18人)	11人	34人	保育士1名、パート保育士1名退職
R2年4月	22(20人)	9人	31人	育休保育士復帰、新卒保育士採用 8月、保育士1名、パート1名退職、みつばから保育士異動 パート保育士 11月、2月採用 12月保育士1名退職、 2月保育士1名退職
R3年3月	20(18人)	10人	30人	保育士1名、給食パート1名退職

3、総括

① 運営

- 定員 110 名(1,320 名)で 1,432 名(108%)まで子どもを受け入れた。
- コロナ禍の中で園内への感染を防ぐため合同運営部、運営部会議を定期的に行い、方向性を確認しました。
- 一つ一つの行事をどうするか、コロナ感染の状況を見ながら密を避け、子ども達とどんな風楽しめるか、保護者の参加をどうするか、会場はなど検討してきました。
- 職員退職に大きく影響した。

② 保育

- 例年と同様に近隣公園を求めてクラスやパートでお散歩に出かけたり、砂、泥んこ、ボール遊びなどしたりして戸外遊びを楽しみました。
- なつまつり(7/15～7/17)…コロナ禍の中で、子どもと職員で楽しもうと、踊りの日、おいしい日、縁日の日として、保護者参加無しの 3 日間のなつまつり week を楽しむことができました。
- 運動会(9/27)…ぐんすくクラスの子どもと保護者のみの運動会をいーぱる広場で実施。恒例の色別対抗リレーとなつまつり week で踊った“よっちょれ”を保護者の前で発表しました。
- 合宿保育(10/16～10/17)…貸し切りバスで男鹿水族館 GAOに出かけました。国花苑内遊園地で遊び、温泉入浴、保育園に宿泊しました。一方でコロナ禍のリスクを回避するため、ぐんすくクラスの合宿はできませんでした。
- 生活発表会…(12/19)保育園ホール、いーぱる文化ホールでは密になるため、広い会場を探し、秋田テルサのホールで 2～5 歳児の子ども、保護者の参加(保護者 2 名と県外往来者は不参加)で発表会を開催
- 卒業式…(3/12)保育園内では密になるため、いーぱる地域文化ホールの空きがあった 3/12(金)16:00-18:00 に在園児のお迎えの協力を得ながら、卒園児と 1 世帯 2 名までの制限を設けて行いました。
- みつば保育園との交流保育…秋の芋ほり園外保育の後、大森山動物園に一緒に行って交流を図りました。
冬はオーパススキー場でソリ遊びの交流も行いました。
- 園庭にかまどやピザ窯を準備して、毎年のようにクッキングを楽しみました。
・ 鮭の解体ショーを寿司職人の保護者に協力してもらって行いました。解体した鮭はカマドを利用して、ちゃんちゃん焼きを調理しておいしく味わいました。
- コロナ禍の中で玄関対応を進める事で年長、年中の子どもたちが 2 階の子どもたちの荷物を運ぶお手伝いをしたり、子どもの移動を手伝ってくれたりといつになく異年齢の交流が進みました。そのなかで、他年齢の児童の名前を覚えたり、好きなお兄さん・お姉さんができたり、お手伝い活動から自然に異年齢交流が広がりました。

③ 健康保健、安全危機管理

- 園内の感染をどうしても防ぐため送迎は玄関対応とした。
- 感染症胃腸炎(ノロウイルス)発生 0 歳児の中で感染症が発生、他のクラスへ広がりました。

④ 施設整備

- 既存の物置、教材スペースに仕切りを入れ、会議室と教材スペースを確保した。また、玄関上の屋根裏を改修し物置スペースを新設した。
- 園庭のログハウスの基礎部分改修工事と木製プランター(畑の枠)の改修を行いました。

⑤事故(ヒヤリハット)対応状況

- ・衝突事故 3 件、受診 1 件、未受診 2 件

保育

- ・避難訓練後の子供の見守り、夕方お迎え時間帯の見守り。
- ・4 輪車(リヤカー)からの転落

給食

- ・混入、誤食、原材料チェックミス、乳除去の子どもの確認ミス
- ※ 全件無症状で終わりました。

⑥ 意見・要望・苦情受付対応状況

- コロナ禍で例年通りに行事が行えず、規模縮小や人数制限をしながら子どもたちが楽しめるような行事を実施。次年度に向け、行事計画を参考に保護者アンケートを実施しました。

97 世帯中80%の回収率

①	なつまつり	1, 子どもと職員での実施 33 件 2, 家族も参加 40 件 3, どちらでも4件
②	運動会	1, 以上児の参加 23 件 2, 未満児も参加 16 件 3, ぴよん〜ぐんの参加 39 件
		1, 土曜日の午前中 43 件 2, 日曜日の午前中 24 件 3, どちらでも 9 件
③	生活発表会	1, 以上児の参加 11 件 2, 未満児も参加 24 件 3, ぴよん〜ぐんの参加 41 件
		1, 園内での開催 13 件 2, 他施設での開催 56 件 3, どこでも 9 件
④	卒園式	1, 平日夕方開催 5 件 2, 土曜日の午前中 65 件 3, どちらでも 8 件
		1, 園内での開催 43 件 2, 他施設での開催 25 件 3, どこでも 10 件

保護者の意見

- 園内に入れることが少なかったため、普段の様子がほとんど分からなく、何より先生たちの顔と名前が一致しない。写真を使う、名札を使うなど工夫してほしい。
- 勤務している先生方の名前がわかりません、フルネームでなくてもいいので顔と名前がわかるような取り組みがあってもいいのかな?と思います→クラスだよりで写真付きの職員紹介をしていく。
- 子ども達の日常生活を見たいです。(保育参観)
- クラス懇談会は、同じ年の子育てをする保護者同士のいい刺激や不安を共有しあえるいい機会になっていたなあと感じています→よちこ発表会(11 月)、クラス懇談会計画しています。

⑦ 秋田市指導監査状況(R2,11,10)

- 指摘事項一無し
- 助言事項
 - ・ 外部からの不審者の侵入を防ぐための措置や訓練を行う事。
 - ・ 特定子ども・子育て支援(一時預かり事業)の提供については提供した支援の内容に関する記録を整備するとともに、保護者には支援の利用及び個人情報の取り扱いに関わる説明を行い、同意を得る事。
 - ・ 保護者アンケートは、保護者からの意見や要望を吸い上げる機会となる事から、実施頻度や内容について検討すること。

⑧ その他

- 4 歳児の仙台の祖母から手作りマスク郵送されてくる。
- 4 歳児の祖母から子ども用マスクを寄贈される。

②みつば保育園事業報告

【1】令和2年度入所児童数(月初日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延計
0歳	2	2	2	2	2	4	5	5	5	6	7	8	50
1歳	7	7	7	7	7	8	8	8	8	8	8	8	91
2歳	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	73
3歳	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
4歳	7	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	70
5歳	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
計	40	38	38	38	38	41	42	42	42	42	43	44	488

3年間の入所児童推移(定員 40人)

	H30	H31	R2	R3 見込み
0歳児	57	64	50	56
1、2歳児	203	198	164	156
3歳児	83	81	108	60
4、5歳児	174	163	166	180
計	517	506	488	452
充足率	107%	105%	101%	94%

延長・一時保育児童推移

	H30	H31	R2
延長保育	1,209	956	922
一時保育	67	71	18

【2】職員動向

	フル(正職員)	パート	計	備考
R2 年4月	12(10)	6	18	8月 こばとへ保育士1名異動 8~12月 こばとパート保育士みつば勤務 10月 育休保育士復帰 12月 パート保育士退職、子育て支援員2名採用
R3 年3月	11(10)	8	19	保育士1名退職、子育て支援員2名退職
R4 年4月	11(8)	7	18	保育士フルタイム1名、パート2名採用 5月 栄養士・産休代替採用 6月 保育士、栄養士産休 9月 パート保育士育休復帰予定

【3】総括

① 運営

- ・定員40名(480名)で、488名(101%)まで子どもを受け入れました。
コロナ禍の影響により仕事復帰を遅らせたため入所延期が2名。取り消しもいましたが、0歳児受け入れ枠の8名まで入所しました。
- ・園長・主任・副主任が新任となり、それぞれがその業務をこなしていくことに精一杯。コロナ対応も重なり思うように進みませんでしたが、こばととの合同運営部で協議し、職員、保護者へも伝えていくようにしました。
- ・こばと、みつばの保育士交流ができませんでしたが、こばとの退職により7月に夕方1時間のサポートに週交代でみつばから手伝いに行きました。いろいろな保育士が手伝いに行けたことで改めてこばとの大変さを知る機会になりました。
なつまつりもお互いに保育士が行き来しそれぞれの楽しみ方を感じることができました。
- ・保育士求人を出しましたが音沙汰なく、「子育て支援員」にも広げ2名採用(午前パート)。支援員、保育経験が無い方もいたので丁寧に教えてあげたかったが、日々の保育をこなしてもらうことではいっばい。本人の希望で試験に向け年度末での退職となりました。
- ・土曜保育は、パート保育士年収130万以内なのでフルタイム保育士のみで勤務体制を組んでいるが、0,1歳児の利用率が多くなり、フルタイム保育士勤務が増え、土曜休暇が取れなくなっている。土曜保育体制、延長保育体制が大きな課題となっている。
- ・県内の実習生の他、近隣の秋田北高生、秋田工業高生のボランティア活動の受け入れが年度当初は出来ない状況でした。年度の中盤からコロナ対応の約束等とりながら実習生を受入れし、ボランティア活動は年度の後半に何度か外回りの整備を手伝ってもらう作業をしてもらいました。
- ・毎月の園開放『みつばのひろば』は中止し、秋以降、秋田市内の状態が落ち着いたところで、本人の体調確認と、県外の往来をしていないかの確認等とり受け入れした。

- ・園行事、なつまつりは保護者不参加とし平日に子どもと職員のみで実施しました。
運動会は場所を変更し保戸野小のグラウンドで行なうことにしましたが残念ながら雨天により中止。子どもたちが運動会に向けてとても張り切っていたので、急遽町内の公園使用の許可を取り、平日に2~5歳児までの運動会を行ないました。戸外であること、人数を制限するため年長児の保護者のみ参加可としました。
12月のおたのしみ会は、園内で開催したい思いが強くなり、密を避けるため2クラスずつ、3部制の入れ替え制にして行ないました。例年通りとはいきませんでしたが、それでも保護者が見に来ることができたことや、2クラスでのふれあう姿に保護者からも喜びの声があがりました。

② 保育

- ・コロナ禍により、たくさんの制約の中での保育でした。一つひとつ、検討しながら、どうやったら子どもたちにとって楽しい保育ができるかを考えながらの日々でした。春はいつもであれば花見に行く千秋公園も自粛し、できるだけ園庭や隣の公園で過ごすなど手探りでした。
- ・毎年恒例となっている近隣の老人施設への訪問や程の小学校との交流が出来なかった。
- ・遊び合いを大切に、異年齢交流を進めた。動物園に行けなかったこともあり、2~5歳児のごっこあそびでは『どうぶつえんごっこ』で動物や飼育員さんになりきって遊びあいました。0,1歳児も雰囲気を楽しむことができて大きい子がちいさい子を案内するなどあたたかい場面がたくさん見られました。普段の保育でも子どもたちが行き来する場面が多くあり、大きい子がちいさい子の部屋に行きお世話をしたり遊び合い、そのことでその子自身の自信につながり、ちいさい子の部屋で気持ちの安定を図るような時もあり園全体で一人一人の子どもを見つめる機会になったと思います。

③健康保健、安全危機管理

- ・年度当初から新型コロナウイルス対応として保護者は園内に入らず送迎を玄関前での受け入れとし保護者参加の行事についてはその都度検討してきました。
- ・感染症は園だけではなく家庭での過ごし方も変化があったことからかほぼ出ることなく終わりました。

④施設整備

- ・外壁・屋根の塗装工事を行ないました。
- ・園内の修繕(床板の一部、壁の一部、エアコンメンテナンス等)や、造園屋さんによる園庭の整備も行ないました。笹竹やフェンス添いの木を大量にカットしてもらい、見違えるほど子どもたちが遊びやすい場にもどりました。定期的な園庭の整備の必要性を痛感しました。

⑤事故(ヒヤリハット)対応状況

- ・事故(ヒヤリハット)11件 受診(有)7件 未受診4件
- ・転倒による骨折(2歳児)、頭部後頭部の腫れ(1歳児)、顎の出血(0歳児)、唇と歯茎からの出血(3歳児)
- ・跳び箱で顔からマットに着地し唇と歯茎から出血(5歳児)
- ・怪我や受診にはつながらなかったが、公園で遊んでいる時に公園から出ていってしまったこともあり、改めて動きも活発になり油断してはいけないこと、障害児加配保育士が意識してつくということも含め全体で確認をしました。

⑥意見・要望・苦情受付対応状況

- ・行事に関する保護者アンケートの実施をしました。
(世帯配布31世帯(74%)からの回答が寄せられました)
- ・行事に関してはコロナ禍であることもあり、大きな意見要望はなく、2年度と同じような進め方を望む保護者の回答が多く感じられました。
- ・要望・苦情に関しては、13件ありました。苦情6件、要望7件で、苦情については保育中の他児とのトラブルによるもので、4、5歳児の関わりのところが多かったです。相手子ども(危害を加えてしまった方子ども)が同一で、その子自身も過敏であること、子ども同士の間合いが難しい時があることもあり、その都度クラスやクラスをこえて状況を伝え合いその子自身が園内で安心して過ごしていくにはどうしていったら良いのかを考えてきました。
- ・保育士の態度への意見があり、全体で改めて確認をしました。
- ・要望・苦情については、丁寧に聞き取ることや状況をきちんと説明などその都度確認し対応してきました。コロナ禍で、園内に保護者が入れないことで玄関対応も続き、保育士とのコミュニケーションもなかなか取りづらい状況もあり、保護者に保育の様子がより伝わる工夫が今後の課題です。

⑦秋田市指導監査状況(監査日 R2.9.10 木)

指摘事項一特になし。

口頭助言にて

- 一時保育について一保育内容の記録(登降園時間等)をとること、入園児と同じように一時保育利用の説明を受けたという同意書、個人情報同意書をもらうように
- 保護者アンケートについて一1年に一回は実施することが望ましいといった助言を受けました。

③ 法人事業報告

理事会4回開催

	主な議案	理事	監事
5月24日(日)	元年度事業報告、決算書、役員等報酬規程改定案、定時評議員会招集	5/6	2/2
8月25日(火)	2年度収支補正予算書	5/6	2/2
2月15日(月)	2年度収支補正予算書、保育園運営	6/6	2/2
3月25日(木)	2年度補正予算書、就業規則等改定、3年度事業計画、当初予算書	6/6	2/2

評議員会1回開催

6月23日(火)	元年度事業報告、決算書、役員等報酬規程改定	評議員 7/7	理事 4	監事 2/2
----------	-----------------------	---------	------	--------

監事監査

5月16日(土)	元年度業務、元年度計算書類等監査	監事 2/2	理事 2
----------	------------------	--------	------

その他、秋田市行政説明会は資料配布、他機関による法人研修も中止が多く、研修等の活動ができなかった。

総括

- ① 新型コロナ禍の中で保育園感染対応とともに感染防止のため業務縮小や研修等派遣を取りやめた。
- ② 理事会4回、評議員会1回を対面で開催した。
- ③ 法人の独自活動が出来ないでいる。
- ④ こばと、みつば2園の経営・運営環境の違いが一層広がり、1日8時間労働の週休2日制をこばとのみ令和3年度からの実施とせざるを得なかった。
- ⑤ 職員確保が年々厳しくなっており労働環境、処遇改善、職員育成とともに、保育園経営からも中期的検討が必要となってきた。